

湊小学校 前期学校評価アンケート結果

1学期末の学校アンケートへの回答をありがとうございました。アンケート結果を報告させていただきます。

このアンケートの結果を2学期以降の教育活動に生かしていきたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、引き続き学校教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

【4段階評価】

- A : あてはまる
- B : どちらかというとあてはまる
- C : どちらかというとあてはまらない
- D : あてはまらない

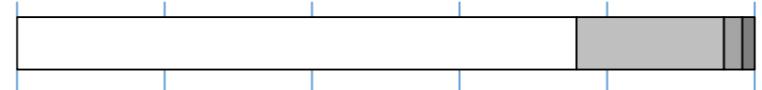
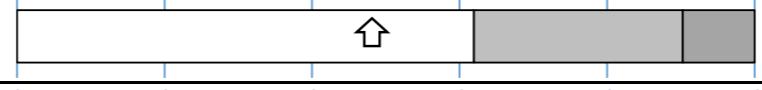
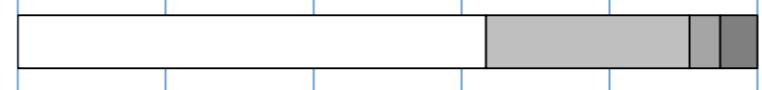
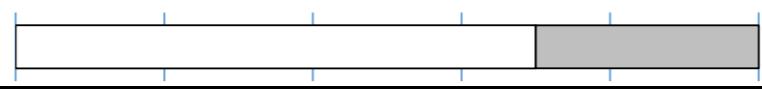
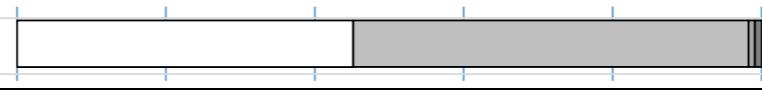
【教育目標】 自ら学び、心ゆたかで、たくましい児童の育成

【めざす学校】 ～湊でよかつた！と思える学校に～

- ①子どもがみんなで学び合い、一人一人の資質・能力を伸ばせる学校
- ②温かく規律があり、活力ある風土の中で、切磋琢磨できる学校
- ③児童、保護者、地域の方々から愛され、信頼され、応援される学校

【めざす児童像】 自ら考え、自ら学ぶ子 やさしく思いやりのある子 たくましい子

| 対象 | 質問 | A B C D | ↑前年比で、肯定的割合(A+B)が増加したもの↓ | | 低下したもの | 分析と対応策 |
|--------------|---|---------|--------------------------|---|--|--------|
| | | | ↑ | ↓ | | |
| 安心・安全 | 児童 学校は楽しい | | | | ・学習が難しくなってきたと感じる児童、友達どうまく関われないことが理由で楽しく、安心してすごすことができない感じている児童が数名います。実態を把握、懇談等により児童理解を深め、改善策を見出し、少しでも安心感が増すように取り組んでいきます。 | |
| | 保護者 お子さんは、学校が楽しいと思っている。 | | | | ・「友達に対しての言葉遣い、ふるまい方」などのトラブルには、発達段階に応じて指導、声掛け、援助が必要です。互いの思いを伝えあうことができるよう、解決できるように、学年や児童の様子に応じて、教師が仲立ちする、話し合う場を設けるなどの支援をしていくことを通して自ら考え、行動できる児童の育成を図っていきます。 | |
| | 児童 いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。 | | | | ・児童と教師が単元や本時の「ゴールの姿」を共有して取り組んできた成果が見られます。「湊小でよかつたと思える授業」=「みんなが主役・みんなが活躍・みんなでつくる」=「子ども主体の授業・安心して参加できる授業」をめざして取り組んでいきます。 | |
| | 保護者 お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。 | | | | | |
| 自ら考え自ら学ぶ子 | 児童 授業は分かりやすい。 | | | | ・児童の「考えを伝える時に根拠や理由を示し、わかりやすく表現している」の肯定的な評価の割合は、昨年度の後期よりは6ポイント低くなつたが、前年の前期で比較すると同じであることから、後半、より実態に応じた授業の進め方を工夫していくことで改善していくようにします。 | |
| | 保護者 お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。 | | | | ・「わかった！」「できた！」が実感できる授業を積み重ねてきた結果、授業で自分の考えを楽しそうに伝えたり、学習課題に進んで取り組もうとする児童や、自らの課題をやり切り満足そうにする児童の姿が見られます。また、協働的な学習を効果的に取り入れ、児童が積極的に関わる機会を設けていきます。 | |
| | 児童 自分の考えを伝える時に根拠や理由を示し、わかりやすく表現している。 | | | | ・なかなか表現出来ない児童に対しては、型を示したり分かったところまで話させたりと、表現する経験を積ませることで、成功体験を味わうことが出来るように配慮していきます。 | |
| | 保護者 お子さんは、自分の思いや考えをノートにしっかり書いている。 | | | | ・説明する際に、「ノートを使って」と条件を加えることで、「考えが残るノート」を書くことの必要感を持たせるなどの手立てを工夫します。 | |
| やさしく思いやりのある子 | 児童 笑顔で、元気に、目を見て、自分からあいさつをしている。 | | | | ・登下校時、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」等の挨拶をお辞儀をしながら丁寧に行おうとする児童が増えてきています。 | |
| | 保護者 お子さんは、きちんと挨拶している。 | | | | ・日中の時間帯も挨拶することが習慣化できるように、引き続き教師が率先して挨拶を行っていきます。 | |
| | 児童 友だちに思いやりのある温かい言葉や、良いところを見つけて、伝えている。 | | | | ・家庭や地域での見守りや声かけがよい評価の結果につながっていると思われます。引き続きお願ひします。 | |
| | 保護者 お子さんは、友だちに対して思いやりの心で行動している。 | | | | ・いいところや思いやりの行動を全校に紹介することで、優しさをつなげようとする意識が高まりました。 | |
| | 児童 縦割り班の友だちとなかよく協力している。 | | | | ・自分中心の言動から友達に嫌な思いをさせてしまった場合には、どんなことが相手を不快にさせてしまうのかを具体的な事例を示しながら伝え、相手意識をもった言動をとることができるようにともに考えていきます。 | |
| | 保護者 お子さんは、学校行事や縦割り活動でほかの学年やいろいろな友だちと関わり合ったり協力したりしている。 | | | | ・自己評価が低い児童には、「思いやり」のある行動を積極的に認め、価値づけることで、自分の行動を前向きにとらえることができます。また、無自覚にとっているような行動についても積極的に認め、自分の行動が「思いやり」のある行動であったのだと気付かせ、価値付けていきます。 | |
| | | | | | ・縦割り活動、異学年交流 | |
| | | | | | ・ほとんどの児童はたてわり班の友達と仲よく協力していると感じている。しかし、たてわり班に心から馴染めずにいる児童がいる現状があることから、話を聞いたり、場合に応じた働きかけを行っていきます。 | |

| | 対象 | 質問 | □ A □ B □ C □ D | ↑ 前年比で、肯定的割合(A+B)が増加したもの ↓ 低下したもの | | 分析と対応策 | |
|------------|------------|--|-----------------|---|---|---|--|
| | | | | ↑ | ↓ | | |
| 健やかでたくましい子 | 8児童 | 体育の時間やその他の時間に、身体をよく動かしている。 | |  | | <p>・今年度4、5、6年で実施した体力テストでは、学校全体としては運動能力の高さを示す結果となりました。特に5年生では顕著に優れており、体育の時間を中心とした体力づくりがつながっていると考えます。</p> <p>・道徳やICTサポーターによる情報モラルの授業によって、インターネットを利用するメリット・デメリットを考えられる児童が増えてきていますが、使いすぎによる身体への影響を理解している児童が少ないと考えられます。また、児童は、約束を守って利用していると回答している児童が多いが、保護者の回答では、肯定的な回答が少なく、認識の違いが見られます。今度お子さんと家庭での約束について確認する中で、目や脳の健康についても話してみてください。学校でも、養護教諭と連携し、長時間利用による目や脳への影響について、身体計測などの時間を利用して指導していきます。</p> | |
| | | お子さんは、運動したり体を動かしたりして遊んでいる。 | |  | | | |
| | 9児童 | 家でゲームやインターネット使用の約束や時間を守っている。(新) | |  | | | |
| | | お子さんは、家でゲームやインターネット使用の約束や時間を守っている。(新) | |  | | | |
| | 教員 | PC端末使用のルールや情報モラルについて指導を行っている。 | |  | | | |
| | 開かれた学校 | 学校は教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている。(新) | |  | | <p>・4月より「校長室だより」を25号以上配信し、教育方針や理念、行事や学習活動、地域との交流を中心に発信していることが、高い肯定的評価につながったと思います。今後も学校からの情報発信の充実を図っていきます。</p> <p>・地域素材や人材活用について、見守り隊、老人会、コミュニティーセンターのご協力のもと、多くの学習や行事が実施できています。また、人材確保や調整には、学校運営協議会コーディネーターのご尽力をいただいています。</p> <p>・地域とともにある学校として、地域に協力を依頼するばかりではなく、児童が地域に貢献したり、活力を生み出す活動が大切だと考えます。</p> | |
| | 教員 | 地域素材や人材を活用したり、体験活動を取り入れたりしながら「ふるさと学習」を推進している。 | |  | | | |
| 教員 | 上記 1~8について | 肯定的な評価(A+B) 100% 教職員は日常から、高い意識を持ち教育活動を行っているという結果ですが、児童の評価、保護者の評価と乖離している項目(C及びD評価)について着目し、後期は右記のように努めています。 | | <p>・児童アンケートで、「いじめられたり無視されたりすることなく安心してすごしている」「授業はわかりやすい」について、否定的な回答をしている児童が数名いることから、担任中心に面談等で個別に状況を把握し、個々に応じた支援や見守りを教職員全員で行っています。また、全体にネット使用のルールやモラルの指導を行います。</p> <p>・後期に向けて、学習、生活、健康面等が、より児童の主体的な学習や活動となるように、支援・援助していきます。</p> | | | |

湊小学校 前期学校評価アンケートより

ご意見

親身になって親子共々関わって頂きありがとうございます。おかげで楽しく過ごせているようです。
学校参観や行事を増やしてほしい。学校での様子を知りたいが、子供が学校での様子を言ってくれないので行って見て知りたい。
子供達の様子がわかる写真をもっと増やしてほしい。

容姿や見た目でからかいなどをされる話をよく聞きます。先日も泣いていました。他でもよく聞きます。注意しあえるように指導して頂きたいです。子に伝えてダメな場合、親にも伝えて家庭でも伝えて貰えばいいと思います。児童だけでは、今までこれからもなおらないかもしれません。

学校の行事などをGoogleカレンダーとかでどうでしょうか？また、bandとかのアプリはどうでしょうか？

夏場ですが、登下校で日傘の使用は可能なのでしょうか？

本人のノートがどうなっているのか、正直なところ分からないです。

回答

行事や授業への参観・見守りの機会を増やすようにしていきたいと思いますが、セキュリティー上の問題や、児童の活動を優先する場合において、学校から案内や説明を行う人員の確保ができる場合に限らざるを得ないこともあります。写真については、昨今の不適切な利用の問題もあり、難しい状況です。

担任だけではなく学校の職員すべてで児童の様子や変化を見逃さないように努めています。しかし、日頃より児童の様子をご覧になっている保護者の方からの情報は不可欠です。児童の話に耳を傾けていただき、困りごとは学校と共有して児童の安心につながるようにしていきたいと考えますのでご協力をよろしくお願いします。

白山市より推奨されているソフトやアプリ(tetoru)を使用中です。その他の使用は認められておりませんので各学校では使用できません。予定については、学校だよりをホームページにアップしていますので、活用していただけます。育友会では、連絡ツールとしてLINEを使用していただいていることは、職員の働き方改革として大変ありがたく思っています。

本校は、どの学年でも雨傘を使用していることを鑑み、日傘の使用は問題ありません。
子どもが一人で扱えるようなものとし、学校の傘立てに立てかけておけるよう折り畳みのタイプの使用はしないでください。

1人1台端末PCを活用している関係で、教科ごとのノートへの書き込み量は減っている傾向があります。担任は、端末への書き込み(入力)の進捗状況や端末を通しての提出物を把握しています。また、ノートについても適宜指導しています。
・自学ノートを一冊終えるごとに校長先生より表彰をしています。表彰された自学ノートを”自学ライブラリー”として児童玄関に展示してありますので、他の児童のがんばりもぜひご覧ください。